

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 31年 3月 4日

事業所名： 呉本庄つくし園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	・基準は満たしているが、療育室を構造化しているため、十分なスペースを確保しているとはいえないところもある。 ・特性に合わせた支援を行うためには、もう少し広いスペースが必要などもある。 ・室内の配置を工夫して、出来るだけスムーズな動線の確保を心がけている。	・子どもさんが活動しやすいよう、配置や導線を工夫して、スペースの調整を行ってきたい。
	2 職員の配置数は適切である	○		・もう少し職員がいると良いと思う。 ・大変な時にヘルプに来てくれる職員がいる。	・園全体でフォローする体制を考えていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・今ある空間を使って、工夫して活動している。 ・一ヶ所一目的を基本に、環境を整えている。 ・子どもに合わせて構造化している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・備品等、買い替えた方が良いところは変えている。 ・遊具、教材等の消毒を毎日している。 ・子どもに合わせて構造化している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報ホームページ等で公開している	○			・30年度も、保護者の方へは資料配布し説明する予定。 ・今年度は、ホームページでも公開する予定。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保している	○		・園内研修や外部研修に参加。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	○		・入園前にアセスメントを行っている。 ・特性シートの記入、発達検査等を定期的に行い、計画に反映している。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・4月～5月にかけて発達検査等を実施している。
	11 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内もの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・家族、地域、移行支援については、どのように個別支援計画に反映させていくか、今後も協議していく必要がある。	・支援計画の見直しを行い、家族支援、地域支援の内容等について検討し、家庭で取り組めることとして、個別支援計画に記入するようにしている。今後も子どもさん、保護者の方のニーズに沿いながら、個々に応じた支援計画を作成するよう考えている。
	12 個別支援計画に沿った支援が行われている	○			
	13 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・クラスで話し合っている。	
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・季節の行事など、幅広い経験ができている。 ・新しいものを取り入れたり、内容に変化をつけたり工夫している。	
15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	○				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・ケース記録に記入。必要に応じ、チェック表等も使用している。	
	19 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・園内でも共有認識し、関係機関とも連携を取っている。	
	22 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要な関係機関と連携している。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・必要に応じて、診察や訓練等に同行したり、情報共有できるようにしている。	
	24 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・移行する際には、情報共有している。	
	25 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・移行する際には、情報共有している。	
	26 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	27 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		・交流保育を実施している。	
	28 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	29 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡ノートや個別指導などで、日々の様子を伝えている。	
30 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	・プログラムとしての家族支援は行っていないが、保護者研修や懇談、親子での個別指導などで、家族を支援するということはしている。 ・CAREプログラムの導入を企画していきたい。	・CAREプログラムの導入に向けて企画 中。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	32 児童発達支援ガイドラインの「個別支援支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	○		・個別懇談で説明を行い、保護者の同意を得ている。	
	33 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・おたよりや個別指導の際に話しをしている。	
	34 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・保護者会への直接的な介入はないが、何かあった時には相談にのれている。	
	35 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・園だより(毎月)やお知らせ(随時)で、発信している。	
	37 個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	38 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・視覚的に分かりやすく伝えるよう、工夫している。	
	39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・夏まつりを実施し、地域との交流を図っている。	
非常時等の対応	40 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している	○		・マニュアル等の作成はしているが、保護者に周知できてないところがある。	・マニュアル等については、療育説明会で保護者に周知します。 ・園だより等で、訓練の実施の様子も、定期的にお知らせしていきたい。
	41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・月1回避難訓練を実施している。	
	42 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	・現在は、保護者の方の申告により、除去などの対応をしている。今後は、医師から何らかの書類(診断書や意見書など)を提出してもらった方が良いのではないかと考える。	・食物アレルギーについては、医師の意見書や診断書を得るようにしていく。
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・その都度記入、回覧している。	
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・全職員で、虐待防止の研修を行っている。	
46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	○		・職員で対応を検討し、身体拘束を行う際は、保護者に了解(文書)を得るようにしている。	・虐待についての自己評価を実施し、全職員による研修を実施している。 ・バス車内等での安全上、ベルトの固定などについては、保護者の方に確認し、同意を得て実施している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 31年 3月 4日

事業所名：児童デイサービスつくしんぼ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		基準を満たしているが、療育施設を構造化していたり、親子利用ということもあるため十分なスペースを確保できていない部分もある。配置を工夫してスペースを確保している。	スペースを確保できるように配置や導線の工夫など検討していきます
	2 職員の配置数は適切であるか	○		利用人数が多い時はニーズに応じての話を聞けない時がある	保護者の話をしっかり聞けるような職員の体制をつくっていきます。職員の役割分担も工夫していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		誰もが分かりやすい構造化を取り入れている	子どもに合わせて必要なスペースやエリアを検討していきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		子どもたちが安全に過ごせるように消毒などを心がけている	おもちゃの消毒なども心がけ、現在の状況を継続していけるようにしていきます
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○			30年度のものも保護者の方に資料配布し、ホームページでも公開する予定です
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに関しては企画中です
	8 職員の資質の向上を行うために、研修会の機会を確保しているか	○		・月に一度、研修会を実施している ・園全体の園内研修や外部研修にも参加している	外部の研修会にも参加し、自分たちの意見を持ったうえで実践したり、お互いに意見を言い合うなどして研磨していきます
	9 アセスメントを適切に行い、子どもの保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者からの意見や、子どもたちのニーズの把握・実態を踏まえて作成している	家庭の中でのニーズなどに合わせて般化しやすいようにしていきたいと考えています

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
適切な支援の提供	10 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内	○		利用回数が少ない方たちが支援計画を家庭で行うのが難しいことがある	利用回数が少なくても家庭で般化できたり取り組みやすい支援計画にできるよう努力します
	11 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		本人たちの支援計画に沿ってできているかを全員で確認して、活動を組み立てるようにしている	より分かりやすいプログラムを心がけるとともに、本人の状況に合わせて子供同士で関わる機会を設定していきます
	12 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		皆でプログラムを確認し、フィードバックするようにしている	今後も継続していきます
	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		月に1度遊具やおもちゃを変えたりしている	プログラムのバリエーションを広げたいけるように工夫していきたいです
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○		状況に応じて、活動内容を組み立てられるように工夫している	集団の活動が少ないため、今後状況に応じて組み込んでいきたいです
	15 支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日行うようにしている	状況に応じて行っていきます
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		その日保護者から聞いた話はすみやかに全体で共有している	話し合った内容を次につなげられるよう工夫していきます
	17 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日記録をとっている	活動内容の細かい目標を明確にして、職員間で共有するようにしていきます
	18 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングを行い、支援につなげていけるように計画している	全員で共有できる方法で行っていきます
19 障害者相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		会議の前に職員全員で特性シートを記入し、その子の状況を共有している	固定された職員以外も会議に参加するようにしていきます	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	20 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関との連携した支援を行っているか	○		必要な子には連携をとるようにしている	今後必要に応じて行っていきます
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			現在対象になる児はいないが、随時必要に応じて行っていく	その時にきちんと支援を行えるように保護者や職員、医師などと情報を共有していきます
	22 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えているか			現在対象になる児はいないが、随時必要に応じて行っていく	その時にきちんと支援を行えるように保護者や職員、医師などと情報を共有していきます
	23 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容の情報提供と相互理解を図っているか	○		全員ではないが必要に応じて担当者会議に参加し、引継ぎ等を行う	今後必要に応じて行っていきます
	24 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		全員ではないが、必要に応じて行っている	今後必要に応じて行っていきます
	25 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じて頻度を増やしたり、気になることを確認するようにしている	今後も他機関の話をしっかり聞いていきます
	26 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもとの活動する機会があるか		○	基本的には設けていない	機会を設けていないことを周知されていないこともあるため、保護者への伝え方を工夫していきます
	27 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		参加している	色んな事業所と情報共有したり、新しい情報を仕入れるようにしていきます
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		課題において、フィードバックして伝えるようにしている	課題以外のところでも相談できるような環境づくりをしていきます。また、保護者が分かりやすく納得できるような伝え方の工夫をしていきます
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	研修会で子どものことについて学習する機会は設けているが、プログラムとしては設けていない	保護者のニーズに沿った研修内容を提供していきます

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	30	○		行っている	適格な説明ができる職員を今後増やしていきます
	31	○		行っている	より分かりやすい伝え方ができるように工夫していきます
保護者への説明責任等	32	○		行っているが、ニーズに沿えていない場合もある	保護者のニーズに合わせて相談しやすい環境づくりと話しやすい職員の体制を検討していきます
	33	○		学期ごとに各チーム2回ずつのお話会の開催をしている	保護会の意図が分からない保護者にも分かりやすいように伝えていきます
	34	○		行うようにしている	待機児童に対しては迅速に対応できていない部分もあるため、工夫していきます。また、スタッフが誰でも対応できるような質の向上を心がけていきます。
	35		○	つくしんぼ独自のものはないが、園全体のものや研修案内などを表示している	必要に応じて検討していきます
	36	○		注意している	支援計画の話をするときに配慮したり、個人情報の取り扱いについて職員みんなで共有していきます
	37	○		視覚的なカードの使用や、絵・コミック会話をういて話が具体的にできるようにしている	職員みんなのできるようにしていきます
	38	○		広地区教育祭に参加しており、地域の人たちとの交流を行っている	教育祭などの情報が周知されるように広がっていきます
	39	○		目につくところの書棚に置いているが、保護者に周知できていないところがある	マニュアルの場所が周知できるようにしていきます

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
	40 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		広支所全体の訓練に参加している	地震や水害などの時に備え、事業所内での工夫を今後検討していきます
非常時等の対応	41 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に必ず確認するようにしている	忘れないように毎回確認していきます
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか		○	保護者と口頭での確認をしているが、書面での確認はしていない	今後検討していきます
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		職員間でその都度回覧して確認している	お互いに気づいたときに声をかけられるような関係性を職員間でつくっていきます
	44 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		園全体で研修をしている	お互いに気づいたときに声をかけられるような関係性を職員間でつくっていきます
	45 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			現在対象になる児はいないが、おやつ時など誤飲など危険を伴う場合には行うようにしている	そういった状況があることを職員間で共有・把握していき、気づいたときに声をかけあえる関係性を職員間でつくっていきます。また、保護者とも毎回確認しながら行っていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。